

「聴覚障がいのある友だち」について

学習コンテンツ「聴覚障がいのある友だち」は、「聴覚障がい」や「福岡県手話言語条例」について理解することを目的としています。



【学習の流れ】

【導入】学習のめあてを確認しましょう。

動画を視聴しながら、「聴覚障がい」について考えることを確認します。



【展開1】「聴覚障がいについて」を視聴します。



「聴覚障がいとは」「聴覚障がいのある人との関わり」について学習します。

動画の途中で、「聴覚障がいのある人が困ること」や「困ることを解決する方法」について考える時間を設定しています。



ワークシート①に自分の考えを記入し、グループで話し合うといいですね。

【展開2】「福岡県手話言語条例について」を視聴します。

「福岡県手話言語条例の目的」「手話」について学習します。



【展開3】「手話であいさつ」を視聴します。



動画を観ながら、一緒に「手話」であいさつをしてみましょ。動きの意味を説明すると分かりやすくなります。(別紙)

【終末】「振り返り」をしましょう。

ワークシート②に「聴覚障がいのある友だち」を観て、分かったことを記入します。



ワークシート②に「聴覚障がい」について、もっと知りたいこと、自分で調べたことを記入します。

調べたことを発表する場を設定するといいですね。



【手話表現】

「おはようございます」

「朝」は枕に見立てた右手こぶしを外して起きる様を表しています。

「あいさつ」は人が腰を曲げてあいさつをする様を表しています。



《朝》
こめかみ付近にあてた右手こぶしをすばやく下におろす。



《あいさつ》
両手人差指を向かい合わせて、同時に曲げる。

「こんにちは」

「昼」は時計の二針が重なる正午を指す様を表しています。

「あいさつ」は人が腰を曲げてあいさつをする様を表しています。



《昼》
右手2指（人差指、中指）を額中央に当てる。



《あいさつ》
両手人差指を向かい合わせて、同時に曲げる。

「こんばんは」

「夜」は目の前が閉じられている様で「暗い」「晩」等の意味も表します。

「あいさつ」は人が腰を曲げてあいさつをする様を表しています。



《夜》
両手のひらを前に向け中央で交差させる。



《あいさつ》
両手人差指を向かい合わせて、同時に曲げる。

「ありがとうございます」

「ありがとう」は勝った関取が賞金をもらって手刀をきるしぐさからうまれました。



《ありがとう》
右手を左手甲に軽く当て、拝むようにする。

「よろしくお願いします」

「良い」は鼻が高い様を表していますが、自慢する意味はありません。

「頼む」は手を合わせて願う様を表しています。



《良い》
右手こぶしを鼻から前に出す。



《頼む》
右手で拝む。